

試験科目名 メディア社会文化学

受験番号

（3枚中1枚目）

【 必答問題 】（100/200 点）

次の 1-1～1-2 に全て解答しなさい（各 50 点）。

1-1. シェイクスピアの時代の劇場の特徴と構造について述べなさい。

出題意図

演劇学を専門的に学ぶために必要な演劇文化に関する知識や関心や理解を確認するためのものであり、正解は多様に考えるので、以下には解答例を示す。

解答例

シェイクスピア時代の劇場としては半屋外の公衆劇場と屋内の私設劇場があった。前者としてはシェイクスピアの劇団宮内大臣一座が公演した劇場座や地球座や有名であり、後者としては黒僧座などが知られている。16 世紀後半、ロンドンに初めて建てられた劇場座は、パーベッジが父子が建てたもので、舞台が土間に張り出している張り出し舞台で三層のバルコニー席があった。土間にはいわゆる土間客が 1 ペニーで入場でき立見席である。もう 1 ペニー払うとバルコニー席の椅子席に座れて、さらにもう 1 ペニーでクッションを借りることが出来た。このようにして財力に応じ多様な社会階層の人々に芝居を楽しませる大衆性が公衆劇場の特徴である。舞台にはセットはあまりなく、セリフにより観客の想像力に訴えるのがシェイクスピアやこの時代の演劇の特徴である。ただし雨の日や冬の寒い日には公演が出来ないので、その欠点を解決する方策して屋内劇場が使われ始める。屋内は基本的に暗いのでろうそくによる照明が使用されるようになり、観客も公衆劇場程には収容できないので、入場料も高く設定され、観客層の変化は上演される芝居の内容にも影響した。シェイクスピア晩年の芝居であるロマンス劇は屋内劇場の上流階級の趣味に適合するような仮面劇や照明・セットの使用が特徴となる。現代の劇場は主に屋内劇場の様式を踏襲しているが、近代の額縁舞台にはない屋外劇場の良さが現代には再評価され、多様な劇場形式を生む契機になった。

1-2. インストラクショナルデザインにおける ADDIE モデルについて、モデル内の全ての段階を

取り上げて解説しなさい。

出題意図

修士課程における応用言語学研究に必要な教材開発の基礎的な知識を問う。

解答例

ADDIE モデルの定義を簡潔に記述し、ADDIE の各段階の名称、およびそれらの概略を記述する。



試験科目名
メディア社会文化学

（3枚中2枚目）

受験番号

【選択問題】（100/200点）

A・Bの選択問題2問の中から1問を選び、解答しなさい（100点）。

A・B両方の解答欄に記入した場合はすべて無効解答とする。

A. 演劇学

黒澤明によるシェイクスピア翻案について具体的な作品名をあげながらその特徴について述べなさい。

出題意図

演劇学を専門的に学ぶために必要な演劇文化に関する知識や関心や理解を確認するためのものであり、正解は多様に考えるので、以下には解答例を示す。

解答例

黒澤明のシェイクスピア翻案映画としては『蜘蛛巣城』、『悪い奴ほどよく眠る』、『乱』の三作品がある。『蜘蛛巣城』は『マクベス』、『悪い奴ほどよく眠る』は『ハムレット』、『乱』は『リア王』の翻案である。『蜘蛛巣城』は、『羅生門』の少し後に完成し、両映画は黒澤明の国際的な名声を確立した作品である。黒澤明は翻案の極意を換骨奪胎という言葉で表したが、『マクベス』におけるスコットランドの王位篡奪の物語を日本の戦国時代に置換し、原作の言葉はほとんど使用していないがシェイクスピア悲劇の本質を映画作品化している。能の様式美を活かしてマクベスとマクベス夫人の表情には能面を参考にするように指示したり、魔女が山姥となり、能「黒塚」の舞台が取り入れられ、日本的な様式美に貫かれている。同時にフラッシュバックなどの映画的な技法も効果的に使用され、当時流行していたフィルムノワールの様式も取り入れている。『蜘蛛巣城』が戦後すぐに制作された白黒映画であるのに対して『乱』は黒澤晩年のカラー映画で晩年のペシミズムが、現代の不条理演劇の先駆けとしても解釈される『リア王』を戦国時代にスピノフさせ、戦争をやめない人間の愚かさが批判されている。

試験科目名 メディア社会文化学

受験番号

(3枚中3枚目)

【 選択問題 】 (100/200 点)

A・B の選択問題 2 問の中から 1 問を選び、解答しなさい。

A・B 両方の解答欄に記入した場合はすべて無効解答とする。

B. メディア応用言語学

マルチモーダル分析について詳しく解説しなさい。解説の中で、2つ以上の具体的な分析例を挙げて論じること。

出題意図

修士課程における応用言語学研究において分析に必要な基礎的な知識を問う。

解答例

応用言語学分野におけるマルチモーダル分析の定義について、Jewitt, Bezemer & O'Halloran (2016)などを参考に記述する。同書や Kress (2009)などを参考に、マルチモーダル分析の具体的な分析事例を2つ以上取り上げ、その概要を記述する。

